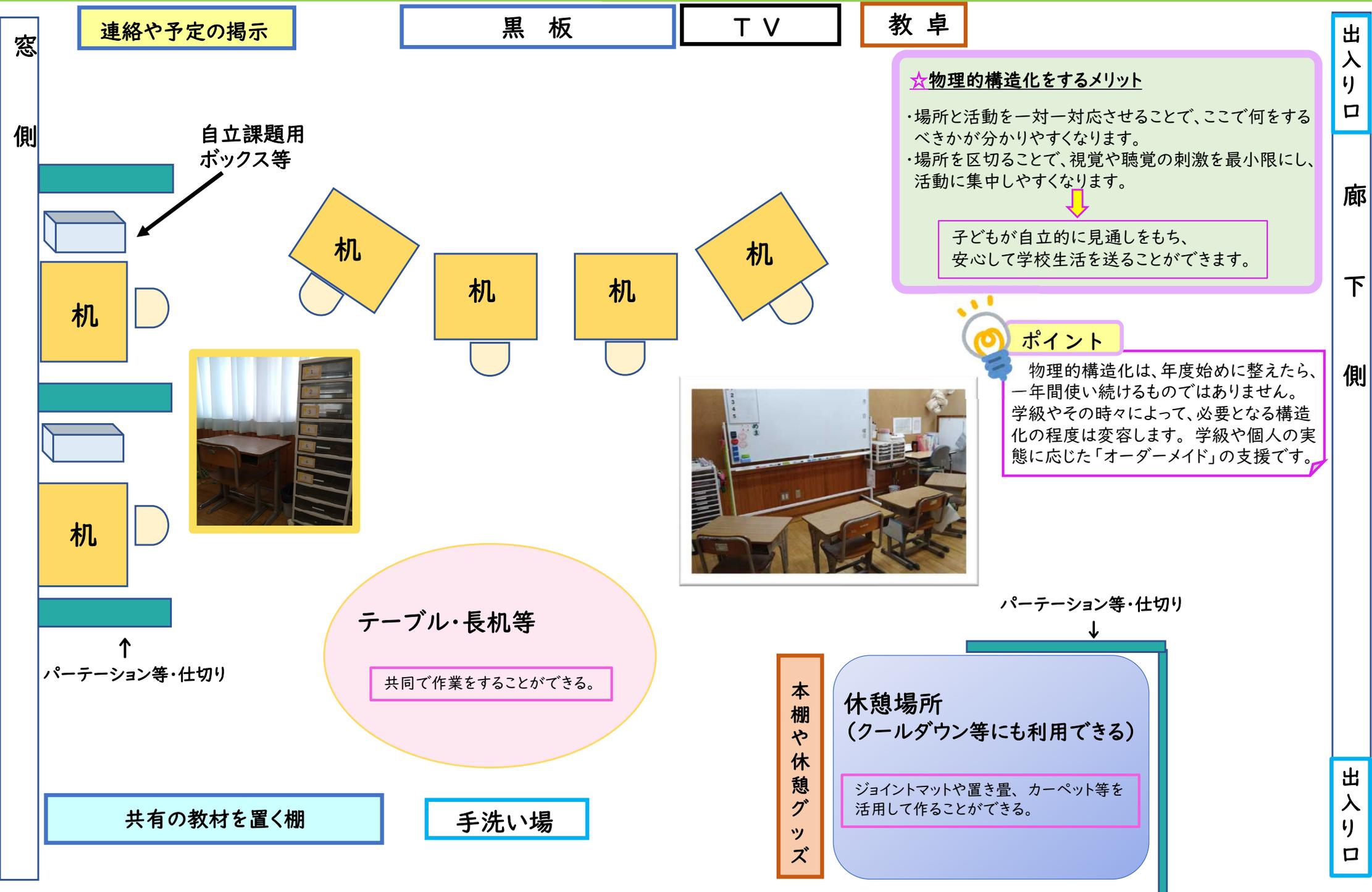


教室環境レイアウト図例①



連絡や予定の掲示

黒板

TV

教卓

出入り口

廊下

下

側

出入り口

自立課題用
ボックス等

机

机

机

机

机

机

テーブル・長机等

共同で作業をすることができる。

共有の教材を置く棚

手洗い場

☆物理的構造化をするメリット

- ・場所と活動を一対一対応させることで、ここで何をすべきかが分かりやすくなります。
- ・場所を区切ることで、視覚や聴覚の刺激を最小限にし、活動に集中しやすくなります。

子どもが自立的に見通しをもち、安心して学校生活を送ることができます。

ポイント

物理的構造化は、年度始めに整えたら、一年間使い続けるものではありません。学級やその時々によって、必要となる構造化の程度は変容します。学級や個人の実態に応じた「オーダーメイド」の支援です。

パーティション等・仕切り

休憩場所
(クールダウン等にも利用できる)

ジョイントマットや置き畳、カーペット等を活用して作ることができる。

本棚や休憩グッズ